川通信 おおいしだ

第145号　令和8年3月

国土交通省
東北地方整備局
新庄河川事務所
大石田出張所

1/16（金）安全パトロール 安全第一

今回は大石田出張所担当工事のうち、3か所を参加者16名で現場のパトロールを行いました。
現場の点検後は、参加者で良かった点や改善すべき点などについて検討会を行い、工事現場の安全に関して話し合いました。
今後も事故に留意し、安全な工事を進めてまいります。


現場パトロール（大石田大橋下部工工事）


意見交換

2/17（火）所内業務報告会

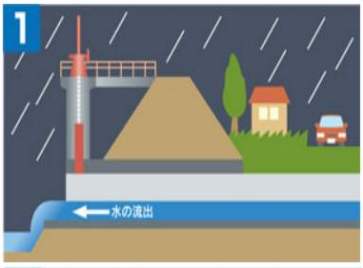
新庄河川事務所において「所内業務報告会」が開催されました。
各課・各出張所の職員が日頃の業務について発表し、技術力の向上と事業における情報共有を図ることを目的に毎年行われております。
大石田出張所からは山田管理第二係員が参加しました。参加された皆様、大変お疲れ様でした。



豆知識「排水樋管」堤防でよく見かける施設「排水樋管」の役割を紹介します。

排水樋管とは

→ **堤防を横断する水路のことです。洪水時に川からの逆流を防ぐための扉(ゲート)がついています。**



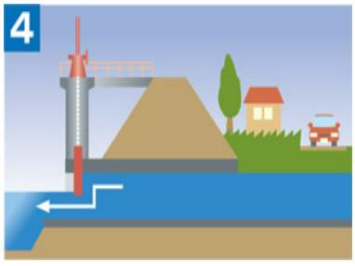
①平常時や川の水位が低いときは、排水樋管の扉は開いており、生活排水や雨水などを川へ流しています。



②大雨の影響で川の水位が高くなると川の水が住宅側に逆流してしまうため、樋管の扉を閉めます。



③洪水時に樋管の扉を閉めると住宅側の水の行き先がなくなり、住宅側が浸水する恐れがあります。そのため、排水機場を設置したり排水ポンプ車で排水するなどの対策をします。



④川の水位が低くなり、住宅側への逆流の心配がなくなったら、樋管の扉を開き、住宅側に溜まった水を川へ流します。

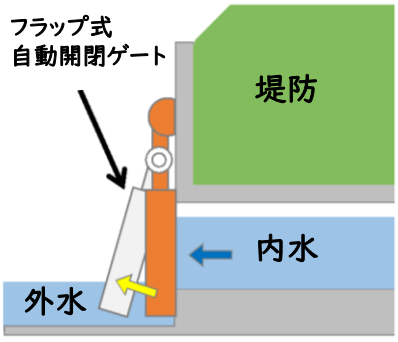
※洪水により樋管の開閉操作が必要なときは、水門等水位観測員さんに操作をお願いしています。
大石田出張所管内には26箇所の排水樋管があり、50名の水門等水位観測員さんが毎月（1、2月を除く）点検や地域のために活動をおこなっています。

大石田出張所管内では「フラップ式自動開閉ゲート」を**今宿排水樋管**と**豊田第二排水樋管**に設置しています。

自動化になる事で操作の負担が軽減され、操作遅れによる最上川からの逆流を防ぐことができます。

外水※1よりも内水※2の水位が高い時は、水圧によってゲートが自動で開いて排水されるんだ。逆に外水のほうが水位が高くなると水圧でゲートが閉じる仕組みだよ！

フラップとは
パタパタと開閉するものという意味なんだ！





※1　外水とは、堤防の外側（堤外地）にある河川を流れる水のこと。
※2　内水とは、堤防で守られた市街地側（提内地）にあるの水のこと。

【発行】
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所　（担当：上林・大山）
〒999-4113 大石田町大字今宿字鷲の原466-2
（TEL）0237-35-2024 （FAX）0237-35-2354

※「川通信 おおいしだ」をご覧になってのご感想やご意見をお寄せ下さい。
※工事現場や河川管理施設をご覧になりたい方は、大石田出張所までご連絡ください。



ホームページもご覧下さい！
http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/

新庄河川　検索

もがみがわ 緊急治水対策プロジェクト